

大久保利晃産業保健研究奨励金受賞者推薦書

産業保健分野の実務家を受賞対象者として推薦する場合の受賞対象業績の記入例をお示しします。

1. 作業環境測定士

作業環境測定士、労働衛生工学衛生管理者（資格認定証は別添）として、企業内で発生したXによる中毒事故の原因を確かめる調査を外部の専門家とともに実施し、施設の一部に漏洩と、保護具の着用の不備による経皮ばくろがあったことを確かめ、対策を実施した。この経緯を日本作業環境測定協会の研究発表会ならびに中央労働災害防止協会全国大会で発表し、***を受賞した。ここに発表記録、受賞を証明する書類のコピーを添付して申請します。

推薦者 日本作業環境測定協会 ** ****

2. 産業保健師・衛生管理者

産業保健師（保健師登録証、として、企業内での保健活動に17年従事し、現在、**大学**保健学部にて社会人大学院生として在籍し、両立支援の***効果についても研究している。**産業保健総合支援センターの支援も受けた地域の企業を対象とした両立支援推進活動にも協力し、成果をまとめて日本産業衛生学会ならびに職業災害医学会で発表している。会社の許諾のもとセンターの相談員として、講習会講師、地域企業からの問い合わせに応じる業務に従事している。ここに発表抄録、報告書を添付します。

推薦者 **産業保健総合支援センター所長

3. 産業医

産業医（認定産業医証、あれば日本産業医衛生学会専門医認定証）として建設会社に従事し、就職前は全く整っていなかった産業保健管理体制の整備を提案し、産業保健チームを組織して、高年齢化の中で健康管理と安全対策の関連について職場に意識を浸透させ、自主的に改善活動をうながし、活動4年間でそれ以前5年平均と比べ度数率30%、強度率40%の改善を見た。この実績からチームが社内表彰を受け、業種団体である***協会、建設業災害防止協会チームを代表して奨励賞として表彰を受けた。写しですが発表記録、表彰記録を添えて申請します。

推薦者 ***取締役 ***協会会長

4. 企業人事部門・衛生管理者

5年前に入社15年目で、出産を経て退職後に人事部門に配属され、健康経営の推進係になった。産業保健専門職とともに、「当社らしい幸せ志向」の健康経営を目指し、形骸化しない持続性のある活動となるよう、また個々人の意思が反映されるテイラーメイドな形にこだわった。特にプレゼンティーズムの改善により、ストレスチェック指標の改善、生産性の向上をみた。なお、3年前に衛生管理者の試験に合格し、今年社会保険労務士（以上の合格証添付）の資格を取得した。ここに社内表彰実績、ビジネス誌の紹介記事、事例発表の記録を添えて申請します。

推薦者 チーム同僚 自薦

5. 企業の開発部門の技術者

日本産業衛生学会の賛助会員となっている企業で従事し、会員の研究者から研究会に加入することを勧められた。この中で、産業ストレスによる疾病発症の機序に関わる研究の成果にヒントを得て、ストレスモニタリング機器システムを開発し、現在、19社で使用され、作業管理や生産性の高い働き方を進めるツールとして、データの蓄積、機能の高次化が進められている。***工業会**賞、日本産業精神ストレス学会**賞を受賞。写しですが発表記録、表彰記録を添えて申請します。

推薦者 日本産業衛生学会 産業**研究会 会長